

編集後記

本号は当初一八三号として九月末刊行を予定していましたが、編集者のとりくみの遅れで一号あとになりました。そのうえ一二月末の刊行が年をこしてしまいましたことを、おわびいたします。

さて本号は、近世墓地研究の特集にいたしました。従来民俗学の分野で研究がなされてきました近世の墓制研究ですが、最近考古学の方面からの調査研究が進んできました。その成果を、それぞれ調査経験の豊富な原田・吉田・田中の三名で論じました。分担を決めたわけではないので、テーマの重なっているところも多いかと思いますが、とらえ方は三者三様です。それはこの分野の研究がまだ発展途上にある証でしょう。

近世墓地に限らず近年の江戸時代を対象とした考古学研究は、わずか二十年ほどの間にほとんど無の状態から相当な蓄積にいたり、いまや文献史学からは見えない面に光をあてつつあります。その成果は近年刊行された『図説江戸考古学研究辞典』（柏書房二〇〇二）にまとめられていますので、関心をもたれる方は、一見をおすすめます。